

例会報告

Rotary



高山西ロータリークラブ

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F

- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
6 月 越前大野城③ 新井典仁

<会長の時間>

ブランド価値の向上

アッと言う間の一年でしたが、会長の時間にお耳を傾けていただきありがとうございました。今回が実質最後の会長の時間ですので、やはりテニス・卓球の話で締めたいと思います。



どんな競技も自らの競技のブランド価値の向上を絶えず図っています。テニスはボールパーソンの配置しボールパーソンが選手に日傘を差すのもその一つだと思います。選手に対するリスペクトを表しております。今回の全仏オープンではナダル選手とハレプ選手が順当に優勝しましたが、優勝賞金は約 2 億円を超えるものと聞いております。

卓球はテニス人気を追い追うように努力してまいりました。先日行われました卓球のジャパンオープン荻村杯では張本選手と伊藤選手が中国選手を破って見事優勝しました。この優勝も画期的でしたが、球拾い、ボールパーソンが配置されたことが注目されました。従来選手が自ら玉を取りに行っていました、ボールパーソンが配置され選手はボールを審判より受け取るようになりました。ボールパーソンの見栄えをよくすることにより卓球競技の人気の向上をもたらすかもしれません。

卓球もテニスも試合中、観客が沸くのはラリーが続いた時です。競技に対する人気を高めるためにラリーの回数を増やす必要があります。卓球の歴史を見ますとラリーの回数を増やすことの歴史とも言えます。卓球のラバーの色に気づかれた方がおられると思いますが赤と黒に統一されています。昔は同じ色でもオーケーでしたので片方はよく切れるラバー、もう一方は全く切れないラバーを使い反転しながら使うことができました。対戦相手は訳が分からなくなります。ラリーどころではありませんでした。表と裏のラバーは同一色が禁止されました。また試合前にラケット交換をして相手のラケットラバーの特質を知ることができるようになりました。このようなラリーが続くような試みが卓球競技の人気の向上につながったと思います。

ロータリークラブの話に引き戻しますと、ブランド価値を上げる様々な工夫がされていると思います。新聞への掲載、HP 上での活動紹介への取り組みなど様々な工夫がされていると思います。しかしながら多くの人にとって「ロータリーって何？」と言う方が多いと思います。なかなか私の任期中ではできませんでしたが地域に打って出て奉仕活動をしてロータリーを知ってもらうことも必要だったかと思えます。このようなことは門前年度にお願いすることになります。一年間の反省でした。

<幹事報告>

◎次期ガサー、地区職業奉仕部門委員長より

- ・地区職業奉仕部門研修セミナー開催のご案内
日 時 7 月 29 日(日)
点鐘 11:00 閉会 17:00
場 所 岐阜都ホテル
岐阜市長良福光
出席要請者



職業奉仕委員長、ロータリー情報委員長、
会員増強委員長、新会員

◎可茂ロータリークラブより

- ・閉会のご挨拶

◎高山市青少年育成市民会議より

- ・飛騨地区青少年育成関係者研修会の開催について(ご案内)
日 時 7 月 3 日(火) 13:30~16:00
- ・平成 30 年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」における街頭啓発活動の出役について(依頼)
出役日時 7 月 4 日(水) 16:30~17:00
場 所 駿河屋アスモ店・エブリ店、ファミリーストアさとう食彩館・三福寺店、バロー高山店、清水屋高山店

- ・高山市青少年育成市民会議総会の資料送付について

◎高山市民憲章推進協議会より

- ・平成 30 年度高山市民憲章推進協議会総会資料

◎リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会より

- ・平成 30 年度定期総会の開催について
日 時 7 月 23 日(月) 14:00~
会 場 セラミックパーク MINO 国際会議場

◎高山商工会議所より

- ・金子一義先生旭日大綬章受章祝賀会の開催について
日 時 7 月 21 日(土) 11:00~
会 場 ひだホテルプラザ

<受贈誌>

- 高山 RC (会報)、(財) 米山記念奨学会 (ハイライトはぎま 219)、
高山市文化協会 (広報高山の文化、高山メセナメイト会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36 名	3 名	39 名	41 名	95.12%
本日	33 名	—	33 名	41 名	80.49%

ロータリー：変化をもたらす

例会報告

<本日のプログラム>

クラブアッセンブリー

S. A. A 田中 武

委員長に 私、田中武 副委員長に黒木正人さん、委員に田中晶洋さん、田邊淳さん、松川英明さん、蜘蛛 康介さん、以上の六名で御座います。米澤会長の全員の創意と工夫で「わくわくするロータリー活動を」をと目標を掲げられました。それに従いSAA 全員出来る限り会長の方針に沿うよう努力して参りました。

今年度事業報告ですが、1月26日にゲストスピーカーとして2630地区直前ガバナー剣田廣善様をお招きして講演をして頂きました。3月23日には、移動例会でグリーンホテルにおきまして、高山労働基準監督署の所長、村瀬直樹様をゲストスピーカーとしてお招きし講演をして頂きました。この時は会員の松川さんには大変お世話になりました、有難う御座いました。

SAA の基本方針で有ります「(会場監督) 例会場秩序を保ち、格調高く運営されるように常に心を配り、気品と風紀を守り、会合がスムーズにいくようにその使命を発揮し設営監督する」を基本方針として活動させて頂きました。今年度私SAA 委員長としては、何をしたかと考えてみますとなにも目立った事は無く、指示、連絡をする前に、委員さん同士で横の連絡をとり、全員が轡をかけて出迎え、ゲストスピーカーに対する対応、心を込めて全てに対応してくれました。素晴らしい委員さん達に恵まれ、委員長としては大変助かり、感謝しています。有難う御座いました。将来、我WRCを背負っていつくれる大事な人材だと私は自負しています。今後も全会員が例会出席を一番大事にして欲しいと思います。出来るだけ休まずに出席して下さい。

又来期は、経験豊かな田近委員長さんですのさらに素晴らしいSAA 委員会になると思います。田近さん、宜しくお願い致します。又連携重要委員会である親睦・趣味の会 向井委員長、出席プログラム・山下委員長、協力ありがとうございます御座いました。本年度は米澤会長の「わくわくするロータリー活動を」どれだけ貢献できたかどうかは分かりませんが、残りわずか半月になりました、後少しですが頑張りますので宜しくお願い致します。



クラブ奉仕委員長 堺 和信

基本方針は「会長方針に従い、各委員会の連携と活性化を図り、魅力あるクラブになるように努める」です。

8月7日に第1回クラブ奉仕委員会を開催しました。委員には経験の浅い若い委員長さんが多いため、初めに委員長として、またロータリアンとしてなすべき基本的なことを再確認しました。その後、会長の基本方針に基づきどのような内容の活動を計画しているかを具体的に説明していただき、会長・幹事や皆さんから意見をいただきました。また、委員会同士で連携し活動できないかも検討していただきました。

12月15日の担当例会は、「クリスマス家族例会」を開催しました。初めての試みで予算もなく、会員の皆様方のご協力による手作

り満載のクリスマス会で、ノエミや奥様方、そしてたくさんの子供たちの参加をいただき、楽しんでいただくことが出来ました。

4月18日に第2回の委員会を開催しました。本来ならもう少し早く開催し、各委員会の中間報告を聞く予定でしたが、ほとんどの委員会がメイン事業を終えられていて、反省を踏まえての次年度への引継ぎ事項をまとめていただきました。

本年度は、会長方針に基づき魅力あるクラブづくりを目指し、各委員長さんには新たな試みを計画していただくようお願いをしました。大きな変化はございませんでしたが、少しずつ変えていこうとする試みの1年でした。この変化を次年度の各委員会へ引き継いでいただき、大きな変化にしていきたいと思います。

親睦委員長 向井 公規

こんにちは、親睦委員長の向井です。副委員長に垣内さん、委員に住田さん、杉山さん、榎坂さん、松川さん、高桑さん、萱垣さん、大前さん、中林さんで執り行わせて頂きました。

会長の方針をもとに、納涼ゆかた例会・新年家族例会・新緑例会全てを、家族例会とさせて頂きました。

昨年8月20日には当飛騨高山美術館にて2500回の記念例会、交換留学生ノエミの歓迎会、そして納涼家族浴衣例会を開催いたしました。

また、1月6日に新年家族例会を、この1年がワクワクできるようにとの思いを込めましてやらせて頂きました。親睦委員の余興では、中山中の立志太鼓を無事披露させて頂きました。また、花柳美麗様ご指導のもと、奥様方8名の方でNOSSを披露頂きました。オークションでも、たくさんのご協力を頂き誠にありがとうございます。

5月20日の新緑例会では、金沢の文化を体験するために、老舗料理店の金城楼さんにて加賀料理を堪能し、芸妓さん3名にも花を添えて頂きました。その他、ガイドの方にはひがし茶屋街の案内をして頂き、帰りには近江町市場で買い物し無事高山に戻ることができました。

各例会とも大勢の皆様にご出席いただき、大変感謝しております。また会長・幹事、事務局、そして親睦委員の皆さまにはお手数ばかりをおかけしてしまいましたが、皆様のお力添えを頂き、3例会とも素晴らしいものになったのではないかと感じております。ありがとうございました。



ニコニコ委員長 住田 泰典

ニコニコ委員会委員長を勤めさせて頂きました。副委員長は榎坂純一さん、委員に長瀬達三さん、杉山和宏さんでした。今年度は「相乗りテーマのニコニコ」に加え、留学生を応援する「相乗りテーマば留学生ニコニコ」を作り取り組んできました。おかげさまで多くの皆様のご喜捨



を頂き、当初目標にしていた年間120万円は達成しました。下期に入り目標を上方修正し150万円としましたが、本日時点で130万円代を越えたところなので、修正目標には到達しないと考えて

ロータリー：変化をもたらす

例会報告

います。力不足で申し訳ありません。相乗りテーマは、ご喜捨を頂く、ある意味「集金方法」としては、気軽に喜捨を出来る意味で実に有効ですが、どうしてもニコニコ本来の目的である、会員の皆様方の周りで起きたことをニコニコしながら披露していただく意味では、その内容が薄く感じます。その点は取り組み不足だったと反省しています。皆様方に、もっと気軽にニコニコボックスにペンを向けていただけるような工夫が必要だったと思っています。ありがとうございました。

会員増強委員長 大村 貴之

会員増強委員会の報告をさせていただきます。担当例会では、8月4日クラブ会員3名に自分が入会した時の状況・心境・決意した決め手など、お話ししていただき今後の入会勧誘のヒントを頂きました。4月13日ゲストスピーチとして地元で活躍する経営者 小瀬克明さん(小瀬労務管理事務所 所長)に講話いただきました。

会員の入会は、7月に大前克秀さん、4月に中林 康弘さんの2名が加わり、退会者なし、純増2名で会員数41名となりました。

今年度作成した入会候補・勧誘状況を次年度に引継ぎます。会員増強は委員会だけではなかなか成果が出ず、全会員の協力が必要のため今後とも協力をお願いします。

一年間、ご協力いただき本当にありがとうございました。



職業分類・選考委員長 狹土 貞吉

今期2名の選考、何れも選考基準120%超え大歓迎の入会となりました。

上期に高山市青少年育成市民会議会長 塩屋 節次 氏を招き卓話頂きました。青少年育成は善悪のけじめと強い精神力を養うことにあり、その原点は褒める事であり、我がクラブの事業である9か年会出席表彰の価値は大であると称え継続の願いがありました。

反省点は会員増強が出来ていない事。選考委員会は増強委員会との連携が大事であり、誠意あるアタックで汗をかくことに尽きます。今一つは「継続は力」であり前年29年作成したはずの掘り起こし名簿が今期引き継がれていないようで残念です。何事も有言実行こそが信頼と信用を生み、好意と友情が深められます。職業分類枠はまだ一杯あります。クラブ員皆さんが声がけし仲間を増やしましょう。



職業奉仕委員長 垣内 秀文

「ロータリーの根幹である、職業奉仕の理解を更に深め、「四つのテスト」の意義を再確認し、ロータリアンとしての自覚を持って行動する」を基本方針に掲げております

担当例会第一回目は9/15、世界生活文化センターの六角さんをお招きし、「メイドイン飛騨高山」認証制度についてと題し卓話を頂きました。地域ブランドを強化によ

り、世界における飛騨高山の存在が確立し、持続的に飛騨高山が発展するそれにより会員も潤い職業奉仕にも一層拍車がかかるという、大変素晴らしい内容であったと思います。又、米澤会長が掲げる「ワクワクするロータリー活動」の一環と又、時間延長する意味での夜間例会となり新鮮な感じがして良かったと思います。

第二回目は2/9に岐阜地方裁判所高山支部へ職場訪問させて頂きました。

社会奉仕委員長 井上 正

移動例会ではNPO法人ハートネットが運営している原山の「ダイニング&カフェ原山」にて行い、おいしい食事とともに大坪徹さまの卓話、そして、作業状況の見学を行い、皆様に多くの商品をご購入いただき誠にありがとうございました。

そして、冬の「ふれあい雪まつり」では、いったい何人の方がお越しいただくか、雲をつかむ思いで行いましたが、当初200人くらいと予想しておりましたところ、400名を超える方に参加戴き、また、急きょ200人前に変更した豚汁も売り切れとなり、大変ご好評をいただきました。

ソフトミニバレーでは、下屋さんが作成戴いたまぐ1勝!というロゴ入りユニフォームを着用し、1勝を目指しましたが、その夢は藻屑と消えました。1年間誠にありがとうございました。



青少年奉仕委員長 長瀬 達三

委員は斎藤さん、大村さんで、副委員長は斎藤さんです。

本年度の当委員会の基本方針は、
①未来を担う青少年の活動に対して、協賛や表彰を通じて支援する

②「キャリア教育を考える会」の出前講座を通し、青少年が仕事や職業について真剣に考えられる機会を作る ことです。

活動内容については、

1. 高山あすなろ会・小中学校木工コンクールへの協賛を9月に実施いたしました。
2. 高山市スポーツ少年団への協賛を12月に会長に出向いていただき実施いたしました。
3. 義務教育課程9ヶ年皆出席表彰については、1月24日に校長会へ出向き、趣旨説明と皆出席者の名簿提出依頼を行ってまいりました。
4. 「キャリア教育を考える会」の出前講座を東山中学校にて1月30日に実施し、講師として14名のメンバーに参加いただきました。初の試みである講座2回実施でしたが、生徒たちの反応もよく、学校からも大変好評でした。

次年度は田中委員長のもと、なんと2つの中学校で出前講座をするということです。

田中さん頑張ってください。

5. 3月2日の例会時には、校長会会長である荘川中学校の岡本校長先生に卓話を依頼し、代表者への会出席表彰を行いました。例会終了後に校長会へ出向き、会長幹事と皆出席者表彰を行ってまいりました。



ロータリー：変化をもたらす

例会報告

6. 5月11日の担当例会では、高山市教育委員会の梶田氏を講師としてお招きし、1月に行われた当クラブの出前講座の様子を映像で発表していただきました。また、出前講座の意義や必要性、効果等についてもお話いただきました。次年度は2校で実施しますから、ご参加いただけなかったメンバーの方にもイメージを掴んでいただき、多くのメンバーのご参加を促すきっかけになったかと思えます。

インターアクト委員長 田中 晶洋

5月から次年度の活動が始まっておりますが2017年度インターアクト委員会として今年度を振り返ってみたいと思います。高山高校のインターアクト顧問を長年やっていた荒川先生が昨年異動なく担当していただけたことで、本当に助かりました。

5月の顧問教師部会から始まり、7月の高山ロータリーとの合同懇親会と8月のインターアクト年次大会、10月には飛騨地区協議会を当クラブと高山高校がホストクラブとなり開催しました。荒川先生の知人のイギリス人講師を招いてすべて英語で講義をしてもらうという内容で高校生には大変刺激になったようです。

又クラブ内でインターアクトの出動要望があれば交渉しますと言っていたのですが、榎坂さんからオファーをいただいた「宮川ごごから市場」は中間試験期間と重なりまして、出展ができませんでした。高校生も学校の行事で色々忙しいようで、スケジュール調整の難しさを感じました。前年と比べて取り立てて目新しいことも出来ませんでした。何とか事故もなく終了できたことを感謝いたします。



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

今年度もあと2回の例会を残すのみとなりました。本日クラブアッセンブリー、各委員長さん報告よろしくお願いします。

●狭土 貞吉さん

ノエミのホームステイを受け入れられた皆さん、ご苦労様でした。この間の歓送迎会楽しかったです。ノエミがスイスでめでたを唄ってくれたら嬉しいのですが!?

●下屋 勝比古さん

先週の「交換留学生報告例会」は担当の私を皆さんでカバーしてくださりとて暖かい会となりました。ノエミもあと2週間となりました。元気で帰国してくれますように

●向井 公規さん

6/10にノエミの修了式に岐阜都ホテルに行ってきました。最後のスピーチでもありましたが、映像を見ていると下屋さん、山下さん、田近さん、菅垣さんの4ホストファミリーのおかげで充実した10ヶ月が伺えました。本当にありがとうございました。名ばかりのカウンセラーでしたが28日に無事帰国出来るよう願っています。

●塚本 直人さん

先日の交換学生の送迎例会ではお世話になりました。とても楽しい会でした。ホストファミリーの皆さんお疲れさまでした。改めて御礼いたします。本日は使用で早退いたしますのでよろしくお願い致します。

●岡田 賛三さん、平 義孝さん、内田 幸洋さん、田中 武さん、

堺 和信さん、田中 正躬さん、大村 貴之さん、井上 正さん、

田中 晶洋さん、住田 泰典さん、黒木 正人さん、松川 英明さん

昨日、会長・幹事と下屋さん、菅垣さんがノエミを連れて高山ロータリークラブの例会を訪問し、斐太高校留学のお礼と報告をされました。ノエミの帰国までちょうど2週間です。残りの日本での生活を有意義に過ごしてもらいたいです。



ロータリー：変化をもたらす